

第7回 9月3日(月) 18:30-20:30

平田正浩 現 (株)フツツ 取締役 海外事業部長
(前 ポッカインターナショナルCEO)

「弱者の戦略、海外でトップブランドを作る」

低付加価値の消費財商品展開を飲料食品製造業・外食事業・小売業というそれぞれの立場の責任者として海外展開をしてきました。飲料事業では激戦区シンガポールで世界的競合コカコーラを向こうに回してシェア1位にまで持ち上げ、現在は100円均一ショップの全世界展開を目論んでいます。日本国内では決して勝ち組とは言えない企業がどうやって海外では勝ち組の一角として名を連ねることができたか。



平田正浩

1964年 東京生まれの埼玉育ち
1988年 明治大学経営学部卒業



卒業後12年半、情報機器・通信機器メーカーにて専ら人事畑を歩み(セイコーエプソン10年・ノキアジャパン2年半)、1993年から5年半、中国返還を跨いだ香港に人事責任者として赴任。試練の日々を過ごし、東南アジア/中国嫌いになる。

2000年秋から、12年半のハイテク人事部を卒業し、飲料食品業界へ(ポッカコーポレーション)。全社の経営戦略策定に携わる(経営企画部長)。その後、3年の間、関連会社である洋菓子製造販売会社に社長として出向。試練の日々を過ごし、社長業が嫌いになる。

当時では先駆けであったマネジングバイアウトで本社が非上場になったことを契機に本社復帰となり、経営企画部長に戻る。

海外強化の方針が打ち出され、東南アジア/中国嫌いが克服されていないうちに、たまたま海外経験があったがために海外事業本部長。その1年後、逃げ切れずにシンガポール現地法人CEO 兼 海外事業本部長就任。

東南アジア嫌い・社長業嫌いが克服された頃に(但し中国嫌いは克服されず)、ポッカがサッポロに買収される。

<空白の2年半を過ごし、人生を見つめ直す>

2015年秋から、顧客との直接コミュニケーションが図れる小売業(ワッツ)に移り、取締役海外事業部長。

現在、大阪にて単身赴任生活を満喫中。